

第 89 回日本生化学会大会 男女共同参画推進ランチョンワークショップ

「研究者のライフイベントを乗り越えるには」

日 時： 2016 年 9 月 27 日（火） 11:45 ～ 12:35

会 場： 第 8 会場（仙台国際センター 会議室 2）

主 催： 日本生化学会男女共同参画推進委員会
木村 洋子、柴沼 質子、澤崎 達也

参 加： 参加申込不要

* 男女共同参画学協会連絡会加盟学会会員の方は本企画にかぎり自由参加可
* お弁当付き（120 名まで）

趣 旨： 昨年の BMB2015 では、日本分子生物学会と、両学会共同企画ランチョンセミナー『研究者のライフイベントを考える―目指すべき制度改正と環境改善―』を開催いたしました。この企画では、事前にライフイベントに関するアンケート調査『BMB2015 両学会共同企画ランチョンセミナー事前アンケート～ライフイベントで困っていることありませんか？～』を行い、研究者のライフイベントにおける問題点を大まかに把握しました。そのアンケート結果より昨年のランチョンセミナーでは、日本学術振興会（学振）の特別研究員制度や、職場の問題、別居の問題について議論を行い、特に学振の研究員については、後日企画メンバーで学術振興会に赴き、要望書を出すなどフォローアップが継続中です。

そこで、今回のランチョンセミナーでは、研究者のライフイベントに関する問題をさらに議論し、どのようにしてライフイベントを乗り越えて、研究を進めていけばよいかを話し合いたいと思います。先ず、昨年度のアンケート結果とその後の活動について報告を行い、次に、大学における男女共同参画の推進に長年取り組んでいられる三宅恵子先生（現：名古屋大学）に講演をお願いし、議論の発議したいと思います。講演では、研究者支援の現状を紹介いただき、ライフイベントを乗り越えようとしている方々へのメッセージとともに、私たちに何ができるのか、学会としてどのように取り組んでいけばよいか、をお話して頂きます。さらに、フロアのみなさんとの討論を通して、ライフイベントを乗り越えるための、小さくても具体的な一歩を踏み出す契機を見出だせれば、と思います。少しずつでも動き出すことが大切だと考えます。多くの方々の積極的な参加を期待します。

【プログラム】

11:45 木村 洋子（静岡大学）

BMB2015 のライフイベントに関するアンケート結果の紹介とその後の活動報告

12:00 三宅 恵子（名古屋大学）

研究者と支援者の立場を行き来しながら見える研究者支援の現状と今後

12:15 全体討論